

[ 成果情報名 ] 秋ギク「神馬」の3月開花作型における親株管理法

[ 要約 ] 秋ギク「神馬」の3月開花作型では、親株を無加温栽培することによって直挿し後の生育が促進され、切り花品質も向上する。

[ キーワード ] 秋ギク、神馬

[ 担当 ] 総合農林試験場・野菜花き部・花き科

[ 連絡先 ] 電話 0957-26-3330、電子メール arakabu@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] 花き

[ 分類 ] 普及

---

[ 背景・ねらい ]

秋ギク「神馬」は、2度切り栽培で3月に開花させる作型では、1番花開花後に低温管理を行うと電照打ち切り後に花芽分化が遅れ、開花揃いも悪くなる。また、改植して3月に開花させる作型においても、親株を低温管理した場合や挿し穂を長期冷蔵した場合に、花芽分化が遅れるという問題がある。このため、親株を加温栽培している産地もあるが、生産経費上問題である。

そこで、親株の栽培温度が花芽分化遅延と切り花品質に及ぼす影響を明らかにする。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1．親株を昼夜解放した施設内で栽培することにより、直挿し後の生育が促進され、切り花品質が向上する（表2）。
- 2．親株を無加温栽培しても、電照打ち切り後53日目から開花し、開花遅延しない（表2）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1．県下全域のすべての作型において適用できる。

[ 具体的データ ]

表1 気象データ

月旬	平均気温		最低気温		最低気温極値	
	13年	平年	13年	平年	13年	観測日
11・上	13.0	14.6	7.9	9.0	4.2	11/ 7
11・中	10.0	12.9	4.5	7.8	3.8	11/20
11・下	10.6	10.1	4.6	4.8	1.1	11/28

注) 観測地 長崎県総合農林試験場

表2 「神馬」親株の栽培温度と生育・切り花品質

栽培温度	電照打ち切り時		採花日	切り花品質		
	草丈	葉数		切り花長	葉数	重量
16	48.8cm	22.1枚	3/14 ~ 3/16	88.3cm	43.5枚	82.5g
無加温	62.1	24.8	3/17 ~ 3/22	104.1	47.6	99.9

注1) 直挿し 平成13年11月30日 無摘心栽培

注2) 電照 平成13年11月30日 ~ 平成14年1月23日

注3) 夜温管理

直挿し後 : 13

電照打ち切り20日前 : 16

電照打ち切り後から摘蕾 : 13 17:00 ~ 22:00

18 22:00 ~ 3:00

20 3:00 ~ 9:00

注4) 換気時間 : 10:00 ~ 15:00 ( 25 )

研究課題名 : 秋ギクの周年栽培における安定生産技術の確立

予算区分 : 県単

研究期間 : 2002 ~ 2005年度

研究担当者 : 出口 浩、松尾崇宏